



「JMoF 2021」開催中止のお知らせ

この度、2021年1月7日（木）～10日（日）に開催を予定しておりました「Japan Meeting of Furries 2021（JMoF 2021）」は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の社会的な影響に、現段階でも収束の目処がつかないことから、参加を予定・検討される皆さんの安全および健康を考慮し、開催の中止を決定いたしました。

「Japan Meeting of Furries 2022（JMoF 2022）」は、2022年1月6日（木）～9日（日）に、ロワジールホテル豊橋（愛知県豊橋市）で開催予定です。テーマはJMoF 2021の「七匹の侍（The Seven Samurai）」を引き継ぎます。

JMoF 2021では初の4日間開催に臨み、ケモノが持つ多様な文化やこれまでの枠に捉えられない新しい交流、自己表現の機会を提供するべく、スタッフ一丸となって準備を進めてまいりました。しかし、国内のCOVID-19の感染拡大は沈静化しつつあるという観測はありながらも、このまま完全に収束に向かうという予測は少なく、いまは次の感染拡大に備えるべきだとするのが専門家の一致した見解です。日常生活やイベントにおいても、感染リスクを下げるために「新しい生活様式」を実践していくことが求められております。

JMoFはその特性上、日本全国や海外から1,000名以上の移動を伴い、会場内外で「3つの密（密閉・密集・密接）」の状態が発生しやすく、さらにそれらが長時間持続するイベントであることから、現行の各種ガイドラインに従った形で感染リスクを十分に下げることが困難であると判断いたしました。また、仮にJMoF 2021で集団感染が発生してしまった場合、これまで私たちが大切に築き上げてきた開催地域の関係者の方々との信頼を失うことになりかねません。これらのことに鑑み、JMoF 2021の開催を中止する結論に達しました。

JMoF 2021に向けて準備をし、交流を楽しみにしていた皆さんにおかれましては、苦渋の決断をお伝えするところとなり、断腸の思いです。

その一方で、不安を抱えながら準備を続け、リスクを孕んだまま開催当日を迎えるよりも、来年1月になったときに、振り返って現時点での判断が「取り越し苦労だったね」・「中止する必要はなかったのにね」と言える状況であるのは、むしろ望ましいことだと思っております。今はCOVID-19の収束に向けて、各個人が日々の配慮を積み重ねていくことが大切です。

2020年6月30日
JMoF実行委員会

なお、JMoF 2021で予定していた一部の企画などは、オンラインといった別の形態での開催を検討しております。詳細は公式ウェブサイトやSNSでお知らせいたしますので、今しばらくお待ちいただければ幸いです。

最後に、開催中止となるとつい後ろ向きに考えてしまいますが、このような状況であるからこそ、イベントとは何なのか、ケモノとは何なのか、私たちは何ができるのかを考えるきっかけにもなると思います。

私たちには知恵があり、技術があり、仲間がいます。未来志向で創意工夫に努めることこそが、ケモノ文化の発展に繋がると信じています。そしてその先に、誰しものがケモノと共に生きられる世界があるはずです。当会もこの逆境に負けずに、「これでもくらす」の精神で運営・準備に尽力してまいりますので、引き続き皆さんの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

以上

JMoF実行委員会 代表

Satomi